

## 令和3年度神奈川県立三ツ境養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立三ツ境養護学校 第3回学校運営協議会
開催日時	令和3年11月4日(木) (書面開催)
開催場所	神奈川県立三ツ境養護学校 (書面開催)
出席者	神奈川県立三ツ境養護学校 運営協議会委員8名
次回開催予定日	令和4年2月24日(木)
問い合わせ先	教頭 松本 寛真 電話 045-365-3711
会議等経過	<p>1 令和3年度学校評価(中間評価) について 【学校評価部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍でできることを模索し工夫をして実践している。</li> <li>・ ICT機器の導入に積極的に取り組んでいる。活用の研修を設定しながら経験を重ねていけると良い。</li> <li>・ 感染症対策を踏まえながらのセンター的機能としての取組を期待している。高等部での教育実践や進路指導の経験もセンター的機能の中で発信できると地域の特別支援教育推進の力になる。</li> <li>・ 研究授業の協議での活発な意見交換により授業改善の幅が広がっていることは素晴らしい。授業改善の取組を記録して振り返る方法も共有できると学校全体の授業力向上につながる。また、相談カードやCSTの活用実績がどのように推移しているか分析すると良い。</li> </ul> <p>2 各校務グループの取組について 各校務グループとも、コロナ禍にもかかわらず、担当の取組を強化していることがわかる。それぞれの取組や進捗状況を情報共有して取り組んでいけると良い。</p> <p>[ 教務企画グループ ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT活用は、今教育場面で求められることであり、今回の取組はその礎となる。また、訪問籍の児童生徒にとっては教室と繋がる貴重な取組である。</li> <li>・ 視線入力機器の活用は肢体不自由特別支援学校ならではの教育実践と思う。特色のある教育実践が進むことが期待される。</li> <li>・ 50周年事業はコロナ禍において工夫しながら事業が進められている。その取組が近隣、地域に積極的に発信できればと思う。</li> </ul> <p>[ 教育推進グループ ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合同学部研究協議など学部を超えた縦断的な取組は、学びの系統性の理解を深める有意義な取組である。今後の指標になるのではないかと。</li> <li>・ 教材教具のWeb展はどれも素晴らしかった。</li> </ul> <p>[ 支援連携グループ ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部機関との連携に関わる業務であり、コロナ禍では苦労があったと思うが、様々な発信の工夫の様子がわかった。</li> <li>・ 年金制度説明会のように、社会生活で必要になるしくみを積極的に学ぶ機会を設けることはとても重要と思う。</li> </ul> <p>[ 安全管理グループ ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害対策や感染症予防対策の充実している様子が伺える。</li> <li>・ 防災について、避難訓練での肢体不自由児の2階からの避難は良い取組である。</li> </ul>

	<p>被災後数日の生活についても想定して準備できるとより良い。</p> <p>3 地域との活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対応により休止中の事業も多いが、できる範囲で工夫しながら取り組んでいる。徐々に再開されていることは嬉しく思う。今後も感染症対策をしっかり行いながら地域との交流を進めてほしい。</li> <li>・通学支援ボランティア、手芸班ボランティアの活用は、屋外での通学時の見守りや自宅でできる刺繍製品の仕上げ等、密を避ける工夫がなされており、地域の活性化に繋がる取組となっている。</li> <li>・二つ橋小への校内清掃は確立されてきている。その他に、作品紹介のような機会が持てないか。</li> <li>・学校間交流は、中学校・高校のボッチャ交流を切り口にしてさらに活性化できると良い。</li> <li>・高校との交流は互いを知るということに加えて、高校生に障害のある子どもや特別支援教育に関心をもってもらう機会、次世代の理解者・支援者を増やすという意味合いを強めても良い。</li> </ul> <p>4 本校の教育活動全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時代に沿った教育計画が感じられ、日々の努力や思いが伝わってくる。その取組は、障害の理解を広げるための地域に向けた情報発信であり、児童・生徒がより住みやすい地域・環境の広がりとなるよう今後も期待している。</li> <li>・課題が様々ある中で、学校全体がチームワークよく前向きに取り組んでいることを感じる事ができた。</li> <li>・学校のHPは、良く更新されており、色々な情報が発信されている。なかなか保護者に届かないのが残念に思う。</li> <li>・コロナの状況はまだ見通せないが、コロナ前に戻っていく部分も増えてきそうなので、トンネルの先に向けた準備を少しずつ始めていけると良い。</li> </ul>
<p>会 議 資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度 三ツ境養護学校 第3回学校運営協議会議（書面開催）開催要項</li> <li>・令和3年度学校評価報告書（中間評価）</li> <li>・各校務グループの取組</li> <li>・三ツ境養護学校 地域との活動について（切れ目ない支援部会取組報告）</li> <li>・意見回答用紙</li> </ul>